

2023 年度中東☆イスラーム教育セミナー（第 19 回）

日程：2023 年 9 月 21 日（木）～24 日（日）

場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3 階大会議室（303）

「紛争下シリアにおける NGO の社会的役割」

浪内 紫雲（東京外国語大学大学院総合国際学研究所博士前期課程 2 年）

本セミナーでは、博士論文の執筆を想定した研究の一環として、現在執筆中の拙修士論文「シリアにおける NGO と公共サービス—シリア開発信託を事例として（仮）」の取り組みからセミナー参加時点で得られた情報や考察内容をもとに発表させていただきました。以下、セミナーについて、私の感想・評価をまとめさせていただきます。次年度以降の参加をご検討される方々に、少しでも参考になりましたら幸いです。

まず、参加者のみなさまとの質疑応答のなかで、自分の今後の研究内容と今後の課題を明確にすることができました。セミナーに参加された院生や先生方のご専門分野・領域が多岐にわたっており、それぞれの見地から鋭いご指摘や示唆に富むご助言がなされていた印象を受けました。また、他参加者の発表を聴講するなかで、「専門分野・領域が異なる方々に、限られた時間内で自分の研究内容をいかにわかりやすく伝えられるのか」「どのような配布資料・スライドであれば発表構成に一貫性を持たせるのか」の 2 点を特に勉強させていただきました。研究者を目指す院生にとって、非常に有益な機会であったと感じています。

次に、研究者を目指す同世代（修士・博士前期課程）の院生との人脈を形成・拡充することができました。他の学会や研究会では、参加者の院生のほとんどが博士後期課程の方々であったため、同じ立場で進路に悩んでいる同世代の院生と関わる機会が少ない印象を受けてきました。本セミナーでは、参加者が修士・博士前期課程の院生が大多数のため、「同世代の方々がどのようにして進路を考えているのか」「これまでどのようにして院生生活を送ってきたのか」などの情報共有ができたと感じています。また、特に同じ研究室に自分以外の院生がいない場合、本セミナーのような場があることは、院生間の情報格差を是正することに大きく貢献し得ると思います。そのほか、質疑応答や発表後の休憩時間などで、参加者の皆さまと研究内容について議論し合い、互いに刺激を受け、高め合える有意義な時間を過ごすことができました。

そして、先生方の講義からは、それぞれのご専門に加え、研究との向き合い方や研究それ自体を職にすることの面白さと難しさを学ばせていただきました。自分の今後のキャリア形成や将来選択を考えるにあたって、大いに参考になりました。普段の大学の講義等ではあまり聞くことがない内容で、非常に興味深く拝聴しました。

最後に、本セミナーにてご講義をくださいました、小倉智史先生、飯塚正人先生、上野雅由樹先生、床呂郁哉先生、藤屋リカ先生、近藤信彰先生、ご企画・運営してくださいました、野田仁先生、黒木英充先生、高松洋一先生、後藤絵美先生、黒沼太一先生をはじめとするア

ジア・アフリカ言語文化研究所の先生方、そして、アジア・アフリカ言語文化研究所フィールドサイエンス研究企画センター事務局の千葉淑子様には、この場をお借りして深くお礼申し上げます。